

啓明学園 初等学校・中学校・高等学校

隣 人 (となりびと) E No.98-15

国際教育センターから皆様へ 1998・11・13

[季節風] ディパバリ [DEEPAWARI]

ヒンドゥー暦6月の新月に行われる**光の祭り**です。インドの有名な叙事詩『ラーマヤナ』のラーマ王の凱旋を起原とするのが一般的ですが、**悪に対する善、暗闇に対する明りの勝利を祝う**ものです。

この日は祖先も地上に戻ってくるとされ、死者の写真の前にお供物だったものを供えます。家の窓やドアを開け放ち、**無数のランプやろうそく**を点して、家族で一晩中、語り明かします。

イースト校と交換ホームステイ 10月30日(金)～11月1日(日)

交換ホームステイは、横田基地イースト小学校と初等学校との、交流プログラムのひとつです。今回は、ハロウィンの夜を楽しませてもらう企画で、5年生と6年生の男子11名、女子16名が参加しました。

アメリカ社会に“飛び込む”には、本人に(保護者にとっても)大変な決意が必要だったと思いますが、学校でもらった英会話集と自分の才覚だけを頼りに、全員見事に3日間を過ごして帰還しました。

本物のハロウィンを経験できただけでなく、家族ぐるみの交流のスタートでもあります。「親にとっても良い勉強になった」という感想も多かったです。1月末、今度はイースト校の子どもたちが泊まりにきます。

アメリカ西海岸で学校フェア開催

10月30日(金)から小山ディレクターがアメリカに出張、西海岸4都市で開かれた学校フェアに参加して、啓明学園の紹介を行いました。最初はサンフランシスコ(31日)で、補習校校長のほか保護者13名が出席。シリコンバレーを背後に控えたサンノゼ(1日)では、保護者29名と三育学院の教師7名の出席がありました。

フェアの目玉は啓明学園、目白学園、暁星国際学園、千里国際学園の代表者と、シグマ校の松本先生による**パネルディスカッション**です。日本の教育の現状や英語の保持伸張、現地の教育環境の急激な変化(プロポジション227など)等について、毎回活発な議論が展開しまし

た。

メキシコ国境に近い**サンディエゴ**は、全米で唯一、日系企業の進出が続いている地域。家電メーカー等がメキシコ側に工場を建てており、同伴子女も増加中です（3日、保護者32名と教員5名が出席）。

日系自動車メーカー各社が販売本部を置く**ロスアンゼルス**（7日）では、70名余りが出席。家族ぐるみで異文化体験を積む重要性を中心に、話題が進みました。編入条件に関しては、際どい“舌戦”もありました。

LAで啓明同窓会

小山ディレクターの出張に合わせて、11月6日（金）ロスアンゼルス在住の同窓生が集まりました。70歳から25歳までが賑やかに雑談する姿は、まさに“ファミリー”で、年齢や性別、生活信条にこだわらない啓明人らしさが現れています。これを機会に、毎年の例会にできれば、もっと出席者は増えていくでしょう。

出席者は次の通り。平井俊一（1回、前同窓会長）、市川美奈子（旧姓日比、34回）、鴻山浩美（旧姓宿谷、35回）、中原なでしこ（35回）、佐伯奈津（47回）、小坂亜実（47回）、小山Dir.の7名。

ひと口ニュース News・News・News・News・News・

11月3日、文化の日 / **初等学校学芸会 / PTAバザー**。

11月4日、全国私学教育研究協議会（～6日、国際フォーラム）

11月5日、胡弓との出会いコンサート（中学・高校）。

11月9日、**国際科学平和週間**（～14日） / 全国高校生留学・交流団体連絡協議会（**交流連**）の**研究協議大会**（～10日）。

11月11日、**イースト小学校教師**一行14名が来校（アメリカは**ベテランズデー**で学校は休み）。

11月12日、編入試験1名（初等2年） / 第32回英語スピーチコンテスト（中学・高校） / 上智大学比較文化学部のカリール教授と高3生の懇談会。

11月13日、**初等学校入学試験**。

【お知らせ】

『隣人』は学園の教職員向けの情報紙ですが、外部の皆様からの要望もあり、内容・表現等を若干手直しの上、希望者にEメール配信しております。

お気付きの点などございましたら、kubo@keimei.ac.jp